



東京大学地域未来社会連携研究機構 三重サテライト第3回ワークショップ



テーマ：三重県企業における IoT・AI導入の現状と課題

■日時：2019年 7月19日(金)14:00-17:00

■会場：東京大学地域未来社会連携研究機構
三重サテライト
三重県四日市市鶉の森1丁目4-28
ユマニテクプラザ1階

■プログラム：

14:00-14:05 開会あいさつ

14:05-14:40 講演 1 「製造業企業におけるIoT・AI導入の現状と課題」
松原 宏(東京大学大学院総合文化研究科教授
地域未来社会連携研究機構長)

14:40-15:00 質疑・休憩

15:00-15:50 講演 2 「IoTやAIを活用した地方経済活性化と地域課題の解決」
越塚 登(東京大学大学院情報学環教授)

16:00-17:00 質疑・総合討論

■参加費：無料

参加希望者は、以下のアドレスにご所属とお名前を事前にお知らせください。

■問合先：東京大学地域未来社会連携研究機構事務局

E-mail. office@frs.c.u-tokyo.ac.jp



■趣旨：

地域未来社会連携研究機構は、東京大学の新しい連携研究機構として、2018年4月1日に設置されました。地域の課題解決に関わる学内の11部局が連携し、統合したプラットフォームを構築することで、研究・地域連携・人材育成の3局面で相乗効果を発揮することを目的としています。

6月3日に経済産業省の産業構造審議会が開催されましたが、グローバル競争が激化する中で、日本企業、とりわけ中小企業において、IoT・AI導入が遅れており、それを支援することが重要な政策課題となっていることが指摘されました。当日は、産構審委員を務めている松原宏機構長が、「製造業企業におけるIoT・AI導入の現状と課題」と題した講演を行うとともに、東京大学情報学環の越塚登教授より「IoTやAIを活用した地方経済活性化と地域課題の解決」についてお話しいただき、三重県企業におけるIoT・AI導入の現状と課題について、考えたいと思います。